

12月12日、ケニアの44回目の独立記念日をお祝いする「ジャムフリ・デイ」が、東京タワーの目の前に臨むプリンスパークタワー東京ホテルで開催されました。

日本に住むケニア人は、700名以上いて日本にいるアフリカ人の中でもナイジェリア、ガーナに続き第3位を占め、なるほど多くのケニアの人がいるんだと、会場の盛況ぶりを見て感心しました。会場には、ケニア人、その家族、ケニア大使、大使館員、国会議員、ダンサー、シンガーなど1000名以上はいると思われ、普段は離れているケニア人同士が一斉に会える機会ということで、自己紹介やお互いの話は尽きることなく、8時半のお開きの時間になっても、熱気は冷めることなく、いつまでもいろんな人々との交流がありました。



私がこの集まりに始めて参加してから3年目。その度に、いろいろなケニア人をお友達になれますが、中でも日本人でアフリカに関わる仕事、活動をしている人々との出会いはとても貴重な機会となっています。まだまだマイナーな地域としてのアフリカを、愛し、尊敬し、関わっていこうという姿勢、アフリカの問題を自分たちの問題として捉える問題意識の高さ、私は大いに毎年励まされています。

また会場で振舞われていた料理は、ケニアからこの日のために来日したシェフに用意された本格的なケニア料理。ケニアのビール。ケニアの音楽。ここが東京の真ん中であることも忘れ、アフリカを感じた夜でした。

皆さん、昨年も「アフリカの日々」を読んで下さってありがとうございました。年末年始なにかとお忙しいとは思いますが、アフリカに関する映画もいろいろ新しく出ていますので、この機会に是非見て頂きたいなと思い、ご紹介させていただきます。

「ブラッド・ダイヤモンド」「キング・オブ・スコットランド」「ホテル・ルワンダ」の3作品です。いずれもアフリカの問題を鋭く描きつつ、引き込まれるストーリー展開、映像の迫力で全く飽きずに見れる作品です。では、来年もよろしくお願い致します。